

## 心理文献講読

[講義] 第4学年 前期 選択 2単位

- 《履修上の留意事項》- 心理学の歴史と学術的な文献の読解に関心のある履修者に適する
- 授業にともなう作業量が多い
  - 課題とする作業への積極的な参加が求められる
  - 各自作成した翻訳などを共有して互いに批評する作業が求められる
  - PC必携
  - 遠隔実施回あり（Zoomを用いた双方向授業とGleixaを用いた課題進行を組み合わせる）

《担当者名》松本由起子 橋彌和秀（特別講師）

### 【概要】

外国語の文献を正確に読むには、一定の知識や一定の語学力に加えて、辞書その他のツールを使い、必要な情報を探して参照する作業が必要である。この授業では、正確な読解に至るのに要する手順を知り、手間と時間を実習形式で経験する。また、読解に用いる辞書、機械翻訳、生成AI等のツールの有効な使い方を実習し、読解にあたって応用のきくスキルの養成を目指す。

### 【学修目標】

- 辞書が適切に使える
- 情報検索・翻訳ツールが適切に使える
- ある程度の精度で原文を読める
- ある程度の精度で訳文を作れる
- 原文の特徴をある程度理解できる
- 訳文や要約を建設的に批評できる
- 複雑なテキストのもつ論理性を評価できる
- 多様な心理学的アプローチを理解・批評できる

### 【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	導入	授業の目的・方法・履修上の注意	松本由起子
2	文献との出会い方（遠隔授業）	情報をどのように得るか	松本由起子
3-4	特別講義と実習（遠隔授業）	心理学を専門とする学部生・大学院生・研究者は、それぞれどんな文献を、どんなかたちで、どのくらい読んでいるものなのか。 - 情報収集；メディアなど - 文献検索：ルート、キーワードなど - 読む環境：機材、ツールなど - 読み方：メモの取り方など - 管理法：ファイルの整理など	橋彌和秀 松本由起子
5-10	一般向けの心理学関連記事を読む（遠隔授業を含む）	読解のスキル・ツール・精度 - 辞書、機械翻訳、生成AIの導入 - AIの生成特性理解のための実習	松本由起子
11-15	学術的な心理学関連記事を読む（遠隔授業を含む）	読解のスキル・ツール・精度をどう調整するか - 異なるモデルのAIによる生成特性理解のための実習	松本由起子

### 【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

### 【アクティブ・ラーニング】

導入している

### 【評価方法】

学期中の各種課題 70%

期末課題 30%

**【教科書】**

都度指示する

**【参考書】**

APA Dictionary of Psychology, <https://dictionary.apa.org/>  
Publication manual of the American Psychological Association : the official guide to APA style  
Routledge Encyclopedia of translation studies, 3rd ed., Routledge, 2021, c2020  
Human Issues in Translation Technology, Routledge, 2020.  
Baker, M., In Other Words: A Coursebook on Translation, Routledge, 2018.  
Kenny, D., Machine translation for everyone, Language Science Press, 2022.  
The Cambridge Dictionary of Psychology, Cambridge University Press, 2009.  
Oxford English Dictionary Online, Oxford University Press, <https://www.oed.com/>

**【備考】**

テキストは購入不要だが、受講者の語彙力などによって、単語集や参考書の入手を勧めることがある

**【学修の準備】**

文献検索・読解・翻訳・校正や、プレゼンテーション、ディスカッションの準備 (160分)

**【ディプロマ・ポリシー (学位授与方針) との関連】**

DP3 : 心理学の基礎やそれらを応用発展させた心理科学と周辺諸科学に関する知識・技術を修得している。

DP6 : 情報科学に関する知見を持ち、数理・データサイエンスの活用ができる。

上記、心理科学部ディプロマ・ポリシーに適合している。

**【ICTの活用】**

学習プラットフォームとしてGleixaを用い、遠隔授業回はZoom等で実施する。機械翻訳 (Google翻訳、DeepL等)、生成AI (ChatGPT等) を用いる。生成AIは北海道医療大学のガイドラインに沿って使う。

**【実務経験】**

松本由起子 (カウンセラー、心理テスター、翻訳、通訳)

**【実務経験を活かした教育内容】**

心理学関係の論文や書籍の翻訳、職業的論文のクロスチェック経験にもとづく英文の精読・翻訳スキル